

## ＜日本地理対策セミナー＞資料(その4)

NHK大河ドラマの主人公、関連する事件などは、よく出題されるので注意が必要！

### ●安倍首相の意向で決まった大河ドラマ「花燃ゆ」

2015年のNHK大河ドラマは、2年前の夏の時点では、「織田信長」になることがほぼ決まっていたが、安倍首相の意向で、急遽、地元山口県を舞台にした「女性が主人公の物語」をすることになり、バタバタで「花燃ゆ」になりました。要するに、誰でもいいから、山口県を舞台にした「女性が主人公の物語」ということで決まったのが「花燃ゆ」ということです。

当初は、伊藤博文の妻が有力候補でしたが、伊藤博文は明治の元勳の中でも、突出した艶福家(要するに女性関係が激しい)なので、その妻が主人公となると、どうしても博文の女性関係もドラマの中の大きな要素にせざると得ない。事実、博文は、明治天皇から「いい加減にしろ」といさめられています。これは、NHKの大河ドラマには相応しくないという理由で、博文の妻は、主人公から外されました。

吉田松陰の妹・文(ふみ)が主人公なのですが、文(ふみ)の夫である久坂玄瑞にも、何人かの愛人がいたようです。その一人佐々木ひろとの間には、息子ももうけています。玄瑞は文(ふみ)との間には子供はいなかったが、玄瑞の浮気については、ドラマの中であっさり描かれているだけでした。

主人公にしては、文(ふみ)の史料があまりに少なく(ほとんどなく)、無理やり決めた感が強く、脚本、演出も随分苦労しているとの話です。吉田松陰の妹・文(ふみ)が主人公に決まった理由の一つは、安倍首相の大叔父(母方の祖母である岸信介の弟)である佐藤栄作氏が、萩市にある吉田松陰の銅像の題字を書いているということがあり(下の写真参照)、これが、最後のダメ押しになったようです。内閣総理大臣ともなると、NHK大河ドラマの内容にまで影響力を発揮できることが、これでよく理解できます。尚、安倍晋三氏の晋の字は、＜高杉晋作＞の晋をとったとのことです。

このような背景を頭に入れて、下記の＜重要歴史事項＞＜重要人物＞をしっかりと学んでいただきたい。

#### ＜重要歴史事項＞

- ・松下村塾
- ・明倫館
- ・奇兵隊
- ・尊皇攘夷
- ・ペリー来航(1853)
- ・日米和親条約(1854)
- ・日米修好通商条約(1858)

・安政の大獄(1858～1859)

・桜田門外の変(1860)

#### ＜重要人物＞

- ・吉田松陰
- ・久坂玄瑞
- ・桂小五郎
- ・佐久間象山
- ・高杉晋作

・伊藤博文

・前原一誠

・梅田雲浜

・井伊直弼

・坂本龍馬

・西郷隆盛

・島津久光

・ペリー



↑佐藤栄作氏による題字